

平成 24 (2012) 年 11 月 26 日

会員各位

日本経営倫理学会  
会長 高橋 浩夫

### 12 月度研究交流例会開催の件

冠略 12 月度研究交流例会を下記の要領により開催いたしますので是非ご参加ください。

今回は若手研究者の新川信洋氏と白鷗大学教授の堀眞由美氏による報告を予定しております。両報告を中心に、幅広い意見交換を通して問題意識を共有できればと存じます。各位の積極的ご参加を期待します。

草々

#### 記

1) 日 時 平成 24 (2012) 年 12 月 15 日 (土) 午後 14 時より午後 17 時

2) 場 所 経営倫理実践研究センター (BERC) セミナー室

3) テーマおよび報告者

①14 時 00 分～15 時 20 分

「経営倫理学におけるカント哲学の現代的意義—社会哲学の視点から」

報告：新川 信洋 氏 (一橋大学大学院博士 (学術))

②15 時 30 分～16 時 50 分

「ワーク・ライフ・バランス：日本の働く女性の現状から」

報告：堀 眞由美 氏 (白鷗大学経営学部教授)

#### 報告概要

##### \*報告①：新川 信洋 (しんかわ のぶひろ) 氏

経営倫理学には「経営学からのアプローチ」と「(応用) 倫理学からのアプローチ」の二側面がある。倫理学は、行為の結果を重視する立場 (功利主義など) と、行為の動機を重視する立場 (義務論など) に大別される。後者の代表的存在であるカント (1724-1804) は、道徳性の厳格さを重視するため実効性に乏しいとも言われることから、倫理学上必ず参照される有名人物でありながら、その理論については必ずしも浸透していないように思われる。そこで本報告では、カントを再考することで、経営倫理学の理論補強において応用倫理的アプローチが有効であることを示したいと考える。当日はカント哲学の概要を紹介し、その倫理学説の中心となる「定言命法」について整理したうえで、従来あまり重視されてこなかったと思われる社会哲学的側面の再評価を試みる。

##### \*報告②：堀 眞由美 (ほり まゆみ) 氏

日本では、ワーク・ライフ・バランスを国の最重要課題の一つとして掲げている。ワーク・ライフ・バランスとは、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら仕事上の責任を果たすと共に家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」と定義されている。本格的な少子化・高齢化を迎える日本には、今何が求められているのか。日本の女性労働の現状から日本社会の課題を概観しつつ、ワーク・ライフ・バランスについて考える。

4) 参加費 正会員：2,000 円 学生：1,000 円 (当日、例会会場にて申し受けます)

5) その他 ご出欠の確認を致したく、参加申込用紙 (裏面) に必要事項をご記入の上  
12 月 12 日 (水) 迄に Fax または E-mail にてご返信ください。

以上

日本経営倫理学会（JABES）行 年 月 日

《12月度研究交流例会》へ参加します。

Fax. 03-3221-1478

氏名	
所属	
通信欄	

\*12月12日（水）迄にお申込ください。

E-mailでのお申込みもできます。 [info@jabes1993.org](mailto:info@jabes1993.org)



- \*東京メトロ有楽町線麹町駅(2番出口)より徒歩1分
- \*東京メトロ半蔵門線半蔵門駅(2番出口)より徒歩5分
- \*JR、東京メトロ丸の内線・南北線 四ツ谷駅より徒歩5分

\*申込書郵送・運営関係問合せ先\*\*\*\*\*

日本経営倫理学会 東京事務局（経営倫理実践研究センター気付）

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5-4 桜井ビル3F

TEL. 03-3221-1477 Fax. 03-3221-1478